

LEDシリーズ

※対象品番は7ページの仕様欄を参照ください



お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。特に、ご使用前に「安全上のご注意」(表紙～2ページ)を必ずお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ ■この説明書は必ずお客様にお渡しください。
■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

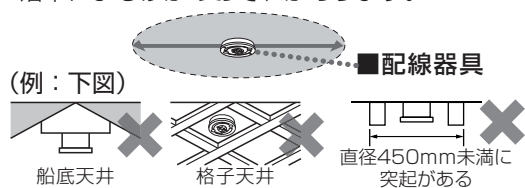
		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

警告

■天井

- 必ず下図のような平面部の直径が450mm以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

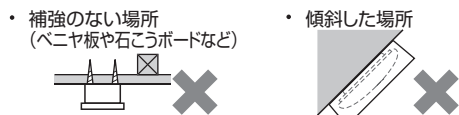
必ず守る



■取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止



◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。

必ず守る

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

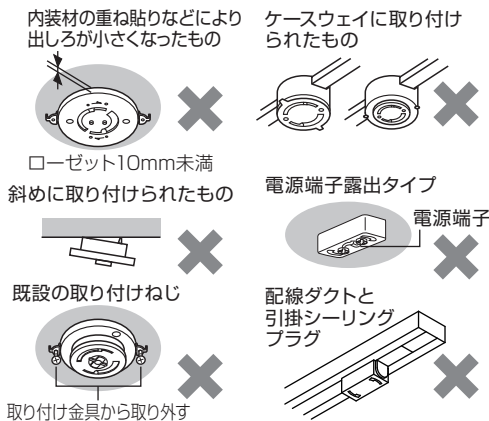
■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

禁止



■その他

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

警告

■その他



必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)
にご相談ください。



必ず守る

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- アダプタ・本体は確実に取り付ける
感電、落下してけがのおそれがあります。

注意



必ず守る

- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となる
ことがあります。
- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、
感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内
在中)に基づき自主点検してください。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから
行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で
使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- 点灯したLEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。
- アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、感電、落下してけがの原因と
なることがあります。
- 乳白カバーが破損した状態で使用しない
内部部品に触れると、感電の原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- 器具の取り付けかたについては ☞『各部のなまえと付属部品』、『照明器具を取り付ける』 3~5ページ参照
- 使いかたについては ☞『リモコンであかりを切り替える』、『器具のチャンネル設定を変更する』
『リモコンで複数の器具を操作する』、『壁スイッチであかりを切り替える』 6ページ参照
- 点灯動作に異常を感じた場合は ☞『故障かな?と思ったら』 7ページ参照
- お手入れ、仕様(品番、定格など)は ☞ 7ページ~裏表紙参照

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
・リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができます。
・壁スイッチのOFF→ON操作で点灯状態を切り替えることができます。
- リモコンで消灯した場合は待機時電力を消費しています。
- 取り付け後、振動などにより本体が回転することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具
から発生することがあります。
- 短時間の停電時、消灯状態から点灯したり、点灯状態が勝手に
切り替わることがあります。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに
発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお取り替えはできません。

【音響機器、情報機器の影響】

- 器具の近くではラジオやテレビなどの音響、
映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用メガネ、ビデオカメラのモニター、
録画などの画像にちらつき、縞模様が発生する
ことがあります。
- 他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、
3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、
リモコンが反応しにくい場合があります。

【リモコンの乾電池について】

- リモコンの乾電池は半年を目安に交換して
ください。ただし、付属の乾電池は器具取付
時の動作確認用のため、早く消耗する場合が
あります。

【壁スイッチ1回路で複数灯使用する場合】

- 指定の壁スイッチ1回路に器具8台まで接続可能です。
・壁スイッチの操作で消灯前の点灯状態で点灯できます。
・同一のリモコンのチャンネルに設定ください。☞6ページ「リモコンで複数の器具を操作する」参照
- ・壁スイッチを素早くOFF→ONして点灯状態を切り替えたときや停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生したときに、
一部の器具の点灯状態がずれる場合があります。その場合は、リモコンで点灯状態を調整ください。
- ・リモコン操作で離れた器具の点灯状態が切り替わらない場合は器具に近づいて操作ください。

適合壁スイッチ: 埋込スイッチB(片切) WT5001、埋込スイッチC(3路) WT5002、
(別売) 埋込ほたるスイッチB(片切) WT50519/ WTA5051、
埋込ほたるスイッチC(3路) WT50529/ WTA5052

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

確認

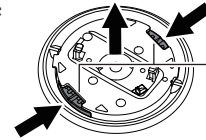
- ◎必ず壁スイッチを設けてください。
☞2ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照
- 取り付け前に、表紙、2ページの「安全上のご注意」、「ご使用上に関するお知らせ」をご確認ください。
- ◎配線器具・スイッチの取り替え、取り付けが必要な場合は、販売店、工事店にご依頼ください。
(工事には資格が必要)

注意 配線器具に取り付ける前に、本体にアダプタを取り付けしないでください。取り付けができません。

取り付けできる配線器具 (下記以外には取り付けできません)

引掛シーリング			ローゼット	
丸型フル引掛シーリング WG5005 WG5015	丸型引掛シーリング WG4000 WG4420 WG4425 WG1500	角型引掛シーリング WG1000	フル引掛ローゼット WG6005	引掛埋込ローゼット WG6000 WG6420 WG6130

本体にはめ込んでしまった場合のアダプタの外し方



切り欠きに指先を入れ突起をすぼめてアダプタを引き上げる

・セードの形状は品番により異なります。

木ネジ取付ピッチ: 130mm

※配線器具を中心にピッチを取る

配線器具

(丸型フル引掛シーリングの場合)

セード

(バケットタイプの場合)

セード

(ウッドタイプの場合)

- ・自然素材のため、木目、色味が多少異なります。
- ・天然木を使用していますので、年数とともに徐々に変色・劣化していきます。

※1)配線器具の種類によりナベ小ネジまたは木ネジのどちらかを使用します。

セード取付用
ナベ小ネジ※1 (2本)
(ローゼット取付の場合)

セード取付用
木ネジ※1 (2本)
(引掛シーリング取付の場合)

アダプタ

本体

乳白カバー

(本体と一体構造です。乳白カバーを外すことはできません。)

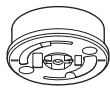
本体取付用付属部品

アダプタ (1個)



配線器具

丸型フル引掛シーリング (1個)



補修品番
NZ2719M

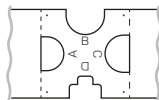
引掛シーリング用
木ネジ (2本)



セード取付用付属部品

<引掛シーリング取付で使用>

木ネジ位置ガイド※2 (1枚)



本体固定用
パットとして
使用

※2)引掛シーリングを基準にセード取付用木ネジ位置を決めることができます。使用しないと本体がセードの中心からずれたり、本体が取り付けられない場合があります。

セード取付用
木ネジ (2本)



<ローゼット取付で使用>

セード取付用
ナベ小ネジ (2本)

M3.5×6、ピッチ0.6

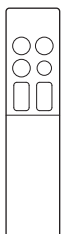


リモコン付属部品

リモコン (1個)

補修品番
HK9809MM

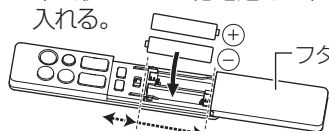
☞
操作方法は、
7ページ参照



単4形
マンガン
乾電池
(2本)

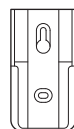


●リモコンのフタを開けて、単4形マンガン乾電池を2本入れる。



フタは、2度引く
チャンネルボタンの下でいったん止まりますので、もう1度引いてください。

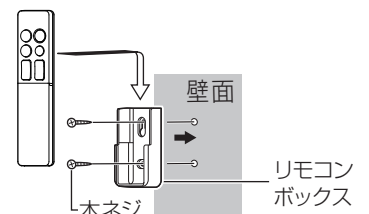
リモコン
ボックス
(1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ (2本)



●リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。

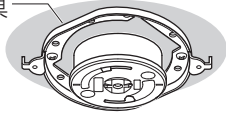


引掛シーリングに取り付ける場合

準備

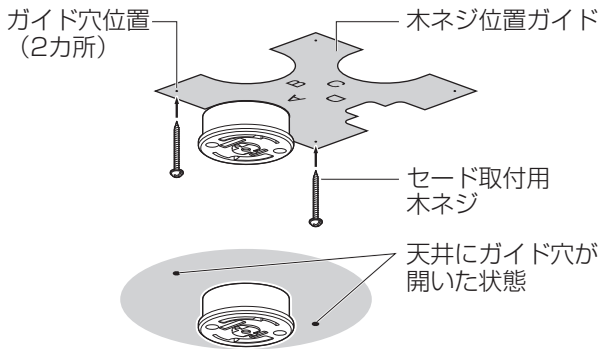
引掛シーリングに取付金具が取り付けられている場合は外してください。

取付金具

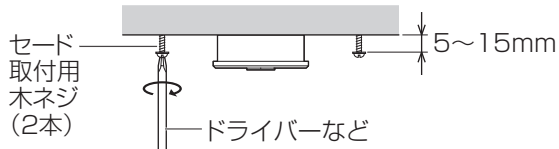


① 「木ネジ位置ガイド」を使用し、天井に木ネジ用のガイド穴を開ける

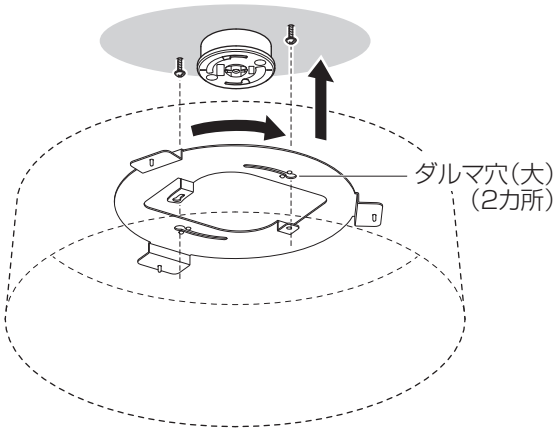
☞ 次ページ「木ネジ位置ガイドの使いかた」を参照し行ってください。



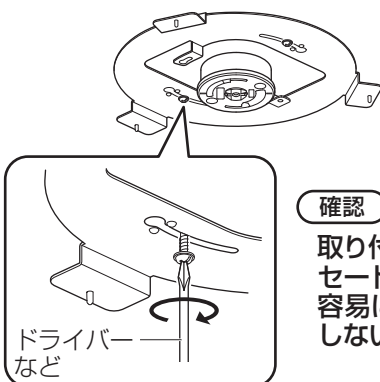
② ガイド穴にセード取付用木ネジ (2本) を仮止めする



③ ②の木ネジ(2本)にダルマ穴(大)(2カ所)を合わせ、セードを押し上げ右に回す



④ ダルマ穴(大)(2カ所)の木ネジ(2本)を締め付ける



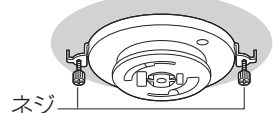
確認

取り付け後、セードががたついたり、容易に回転したりしないか確認する

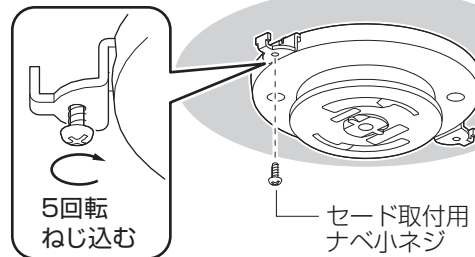
ローゼットに取り付ける場合

準備

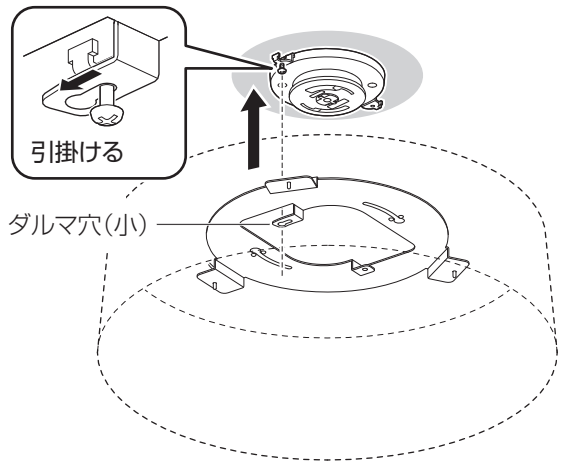
ローゼットの金具にネジが取り付けられている場合は外してください。



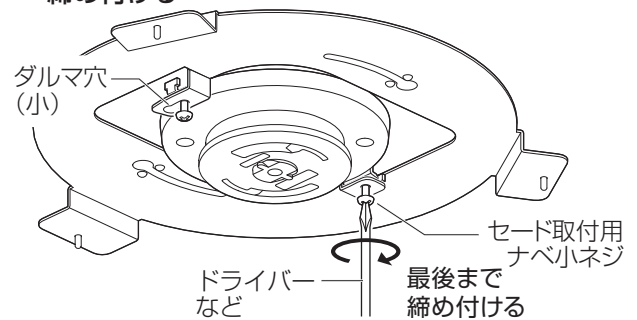
① ローゼットの金具にセード取付用ナベ小ネジ(1本)を仮止めする



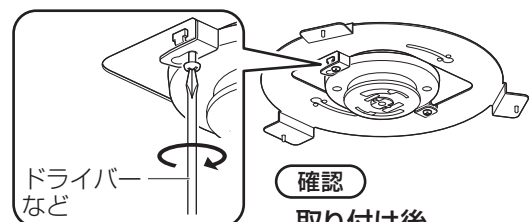
② ①のナベ小ネジにセードのダルマ穴(小)を引掛ける



③ ダルマ穴(小)の反対側のネジ穴にセード取付用ナベ小ネジ(1本)を取り付け締め付ける



④ ダルマ穴(小)のナベ小ネジを締め付ける



確認

取り付け後、セードががたついたり、容易に回転したりしないか確認する

① 天井の配線器具にアダプタを取り付ける
引掛刃 (2カ所) を配線器具のスライド穴に入れる

② カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認 ボタン (解除用) を押さずに左に回して外れないことを確認する

③ アダプタの●印と乳白カバー凸部と方向を合わせる

④ ガチャと音がするまで本体を水平に押し上げる

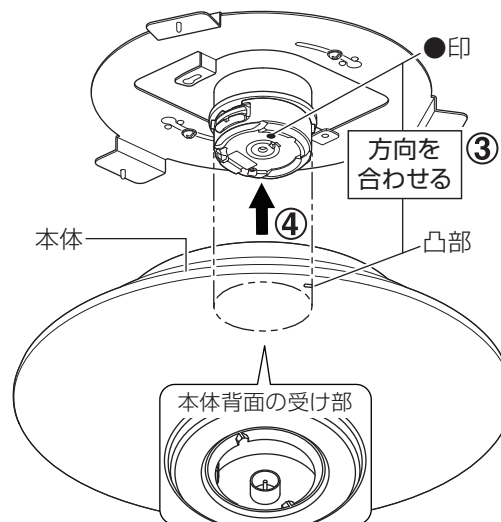
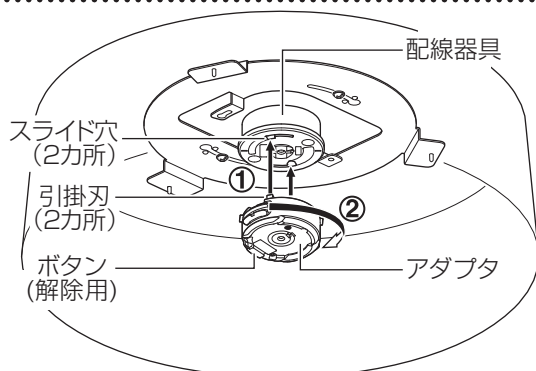
確認

- 本体の傾き 本体が傾いている場合
本体が下がっている側を押し上げる
- 器具の点灯 点灯しない場合
本体を少し回してから押し上げる

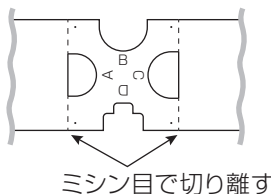
本体に傾きがなく点灯すれば取り付け完了です。
取付完了状態でも本体は、若干のぐらつきや回ることがありますが、点灯すれば異常ではありません。

それでも取付完了状態にならない場合は、
本体を取り外して、

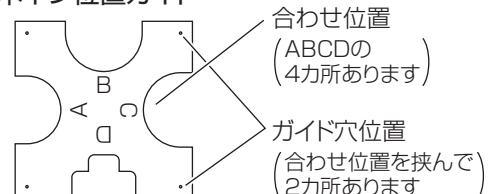
☞ 裏表紙「本体を取り外す」参照
再度 ① の手順から行ってください。



● 天井に付いている配線器具が引掛シーリングの場合、
付属の「木ネジ位置ガイド」を使用し、
下記手順に従って天井にセード取付用の
ガイド穴を開けてください。

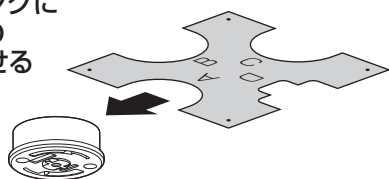


木ネジ位置ガイド



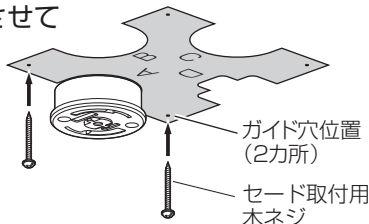
① 天井の引掛シーリングを確認し、
対応する合わせ位置A～Dを確認する (右表参照)

② 天井の引掛シーリングに
木ネジ位置ガイドの
合わせ位置を合わせる

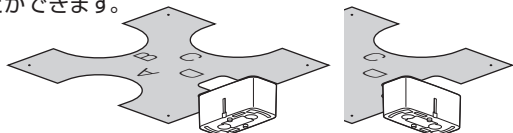


丸型フル引掛シーリングの場合、
合わせ位置 A を合わせる

③ ガイド穴位置 (2カ所) に
セード取付用木ネジの先端を合わせ、
木ネジを2～3回転させて
天井にガイド穴を開ける



角型引掛シーリングは90°に振った角度にも
合わせることができます。



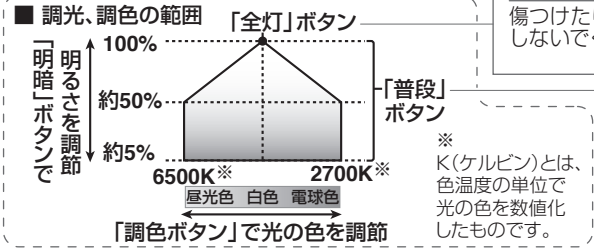
配線器具	合わせ位置
丸型フル引掛シーリング WG5015 WG5005 (送り端子付) 縁にツバがあります 「Panasonic」の刻印が中央近くに あります	A
丸型引掛シーリング WG4420 (コンセント付) 「Panasonic」の刻印が縁に あります	B
丸型引掛シーリング WG1500 WG4000 WG4425 (送り端子付) コンセント付) 「Panasonic」の刻印が中央近くに あります	C
角型引掛シーリング WG1000	D

リモコンであかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください。リモコンの「全灯」「普段」であかりの切り替え、「明暗」「調色」で明るさ、光の色の調節ができます。

全灯ボタン

LEDが白色、明るさ100%で点灯します。



■ 調光、調色の範囲 「全灯」ボタン

LEDが前回「明暗ボタン」、「調色ボタン」で調節(記憶)した明るさ、光の色で点灯します。

■ LEDの明るさ、光の色を調光、調色して記憶させる方法

- 1 「全灯」、「普段」のいずれかのボタンでLEDを点灯
 - 2 「明暗ボタン」、「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節 → 記憶
- ※次回から「普段ボタン」で、調節した明るさ、光の色で点灯します。ただし、「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を変えると、その都度記憶が更新されます。

調色ボタン

LEDの光の色を白い色から暖かい色に連続で変更できます。

おやすみタイマーボタン

ボタンを押してから30分後に自動消灯を行います。

ON(30分後消灯)「ピツ」と音がする → OFF「ピー」と音がする

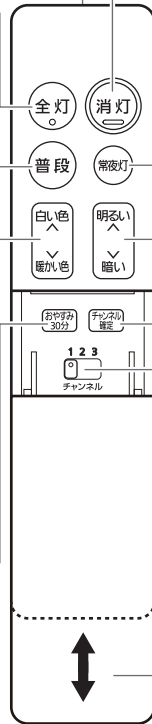
↑ 押すごとに切り替わります。

※いずれの点灯状態、リモコンによる消灯状態でもタイマーはセットされますが、壁スイッチのOFF時はセットされません。

消灯ボタン

送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。



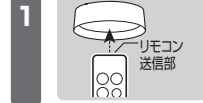
送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



■ リモコン操作時の音を消すことができます

壁スイッチをONにして30秒以内に



リモコンのフタをスライドさせてリモコンの「送信部」を器具に向ける



リモコンの「普段ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

※リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

常夜灯ボタン(蓄光)

(明るさ6段階) (初期設定: 明るさ100%)

常夜灯点灯時に「明暗ボタン」で明るさ調節すると、次回からその明るさで点灯します。ただし、「明暗ボタン」で明るさを変更すると、その都度記憶が更新されます。常夜灯は調色できません。◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

明暗ボタン

LED(100%~約5%)の範囲、常夜灯(明るさ6段階)で明るさを変更できます。

チャンネル確定ボタン・チャンネルスイッチ

同じ部屋で複数の器具を個別に操作したい場合に使用します。☞ 下記「リモコンで複数の器具を操作する」参照

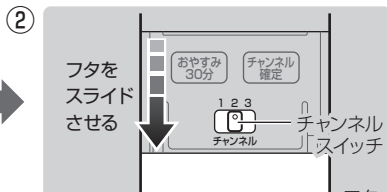
フタ

「おやすみタイマー」、「チャンネル確定」、「チャンネルスイッチ」使用時にフタをスライドさせます。

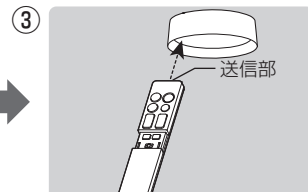
器具のチャンネル設定を変更する



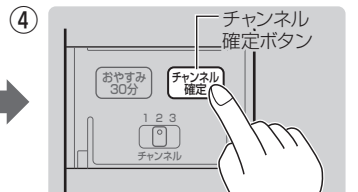
チャンネル設定を行う器具のみを壁スイッチONにする(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)



リモコンのフタをスライドさせて希望のチャンネルに合わせる
チャンネルは1~3まで選べます。



リモコンの「送信部」を器具に向けて



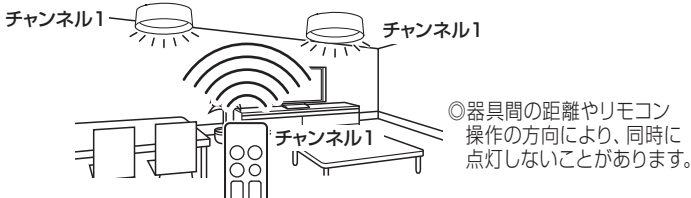
リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す
→「ピピー」と音がして設定完了

メモ 本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
※1:周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが変更されることがあります。リモコン操作できない場合はチャンネル設定が正しくありません。再設定してください。

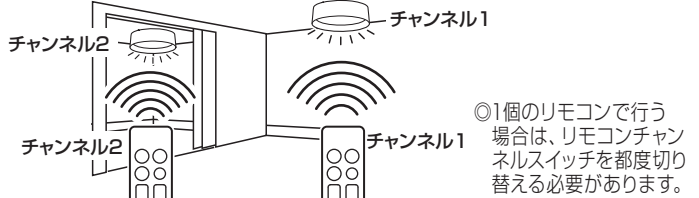
リモコンで複数の器具を操作する

同時または個別に操作できます。

●同時に操作する (例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●個別に操作する (例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



壁スイッチであかりを切り替える

■ 点灯・消灯する



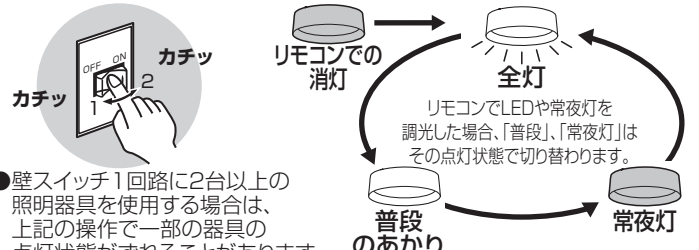
前回の「明るさと光の色」で点灯します

現在(消す直前)の「明るさと光の色」を記憶して消灯します

●消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

■ 点灯状態を切り替える

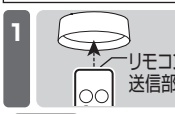

壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	アダプタの●印と本体の凸部と方向を合わせずに取り付けた	アダプタの●印と本体の凸部と方向を合わせてから取り付ける	☞ 5ページ「本体を取り付ける」
	本体の取り付けが不完全で本体が仮保持状態となっている	本体を少し回して水平に押し上げる	☞ 5ページ「本体を取り付ける」
	壁スイッチがOFFになっているまたは、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	6ページ ☞ 「壁スイッチであかりを切り替える」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	6ページ ☞ 「リモコンであかりを切り替える」 ☞ 「壁スイッチであかりを切り替える」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする（「おやすみタイマー」で消灯すると「おやすみタイマー」はOFFされます）	6ページ ☞ 「リモコンであかりを切り替える」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	☞ 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞ 「リモコン付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	6ページ ☞ 「器具のチャンネル設定を変更する」
リモコンで操作できない環境要因	他の機器（例えば、スマートフォン、タブレット、3Dテレビなど）から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、照明器具に対する向きを変える、または電源を切る	—
	リモコンの「送信部」を器具に向けて操作していない	リモコンを手に取り、「送信部」を器具に向けて操作する	6ページ「リモコンであかりを切り替える」の「送信のしかた」
	リモコン操作位置が器具から遠い	器具の近くで操作する	—
リモコン操作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調光、調色（下限付近）動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調光、調色動作が終わるとちらつきも止まります。	—
複数台の使用で点灯状態がずれる	壁スイッチ切替機能にばらつきがあり、非常に短い停電やすばいスイッチ操作により一部の器具の点灯状態が切り替わった	リモコンを操作し点灯状態を合せてください。	—
点灯状態が勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	照明器具を初期化する	☞ 下記「照明器具を初期化する」
「ピピピピピピ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください	—

上記の処置を行っても現象が続く場合	本体	<p>壁スイッチをOFFにし、20秒以上経ってから再度ONにして ☞ 下記「照明器具を初期化する」を行う</p> <p>照明器具を初期化する 壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>1</p>  <p>リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向ける</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2</p>  <p>リモコンの「消灯ボタン」「チャンネル確定ボタン」を同時に押す→「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯したら初期化完了</p> </div> </div> <p>☞ 確認 初期設定（工場出荷状態）に戻りますので、器具のチャンネルや点灯状態を再設定してください。 ☞ 6ページ「リモコンであかりを切り替える」「器具のチャンネル設定を変更する」「リモコンで複数の器具を操作する」参照</p>
	リモコン	リモコンの電池を抜き、30分以上経ってから電池を入れる ☞ 3ページ「リモコン付属部品」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

仕様


☑ 保証書またはセードのラベルをご参照していただき、器具品番にチェックをしてください。

器具品番		本体品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流	畳数		
バケットタイプ	ウッドタイプ									
☐ LGC21180	☐ LGC21182	LGC21114	AC100V	50/60Hz 共用	26.0W	リモコンOFF時 (待機時状態) 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.27A	～6畳		
☐ LGC21181	☐ LGC21183									
☐ LGC21184	—									
☐ LGC31180	☐ LGC31182	LGC31114			30.9W				0.32A	～8畳
☐ LGC31181	☐ LGC31183									
☐ LGC31184	—									


●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

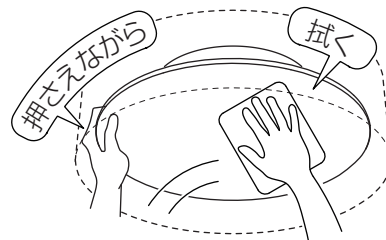
お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、照明器具、リモコンの送信部()を定期的(6カ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

注意

- ・拭き掃除をする時、本体が回転しないよう押さえながら行ってください。回転すると、仮保持状態となり点灯しません。その場合は、本体を押し上げ確実に取り付けてください。
 5ページ「本体を取り付ける」参照
- ・乳白カバーに無理な力を加えないでください。破損したり、本体と乳白カバーの間に隙間ができ、虫・ホコリの侵入を防ぐ効果が損なわれるおそれがあります。

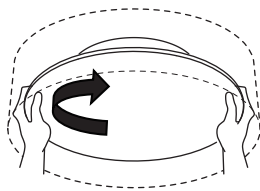


確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

本体を取り外す

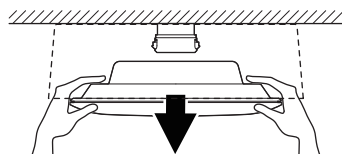
- ① 本体を回しロック(取付完了状態)を解除して仮保持状態にする
本体を回している途中で段を越える感触があり仮保持状態となります。
※本体を押し上げないでください。
取付完了状態に戻ることがあります。



軽く引き下げながら
180度以上回す

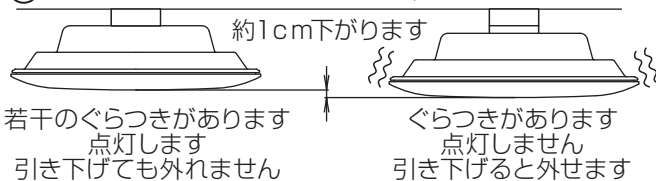
- ② アダプタから本体を取り外す

※引き下げる力は、約5kgのものを持つぐらいの力が必要です。



両手で本体を引き下ろす

- ① 取付完了状態 → 仮保持状態

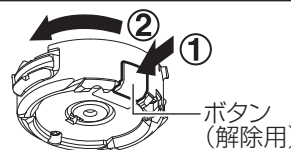


注意

- 仮保持状態で放置しない
落下によるけがのおそれがあります。
- 器具が点灯できる状態で無理に引き下げない
器具破損、落下によるけがのおそれがあります。

アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す



保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 7ページ「仕様」をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。
※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

本体の修理対応

- 本体を分解して部品交換を行なうことはできませんので、修理対応用に本体交換を行う為の部品(本体完成品)を準備しています。
- 不点などの故障、乳白カバーの破損などが発生した場合は、上記の部品に交換となります。
- 交換した部品には、保証書は付帯しておりませんので、修理交換後も本保証書を保管願います。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。
*補修用性能部品はLED電源、リモコン等の電気部品です。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2022-2024

LGC21180-T3A2

N0422-020224